

BNI 大阪高槻河北東リージョン
エグゼクティブディレクター
高須 英治 様

爽秋の候、高津様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素は、社会福祉法人 大阪水上隣保館に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

またこの度は、山崎保育園のために、避難車のご寄付を頂戴し、心から御礼を申し上げます。

ここ数年、三島郡島本町は住宅開発が進み、大阪や京都へも近いこともあり、若い世代の方々の流入が激しく、待機児童数は大阪ワーストワンになっています。そのため、高まる保育ニーズに応えるべく山崎保育園は、150名定員のところを202名まで子どもたちを受け入れています。

最近、わが国は自然災害が多く、私たちも1年前には大阪北部地震を経験するなど、大切な子どもたちの命をいかに守り、安心・安全な保育園を維持していくのが大きな課題となっています。

また当園は日常、裸足での保育を実践しており、大阪北部地震を体験して以降、年長児（3歳～5歳児）の全園児に対して、非常時にはスリッパを履いて逃げれるように準備をし、実際に非常事態が起こった際にスムーズに避難できるよう、毎月の非常時訓練を真剣に取り組んでいます。一方で年少児（0歳～2歳児）については、各クラスの保育室からそのまま一時避難場所の園庭に避難する練習を同じようにくり返し行っています。

実際に地震等による非常事態が発生した場合は、一時避難場所である園庭から400メートルほど離れた緑地公園に避難する必要があります。年長児については、保育士とともに徒歩による避難が可能ですが、特に0歳児や1歳児は徒歩での避難が困難であるため、避難車に乗っての避難となります。しかし園児の増加に比べ、以前から使用していた避難車が経年劣化や老朽化により、しっかりとした使用ができない状態のものもあり、せめて0歳と1歳児の全園児を乗せ、安全に避難できる避難車を揃えることが喫緊の課題です。

しかし、そう思いながらもなかなか購入することが難しい状態です。

こうした状態に対し、今回のご寄付は本当にありがたく、職員一同、うれしく思っております。

ご寄付をいただきましたことは、ホームページのお便りの中で、ご紹介をさせていただく方向で考えています。

今後とも当法人、そしてこども達に対しまして、ご支援を頂戴できますとありがたく存じます。

略儀ながら、先ずは御礼まで。

2019年9月21日
社会福祉法人 大阪水上隣保館
山崎保育園 園長 辻 亨